News Release

BIM-ECコンソーシアム

2021年11月9日

BIM-ECコンソーシアムは「BIM-EC PLATFORM」を構想

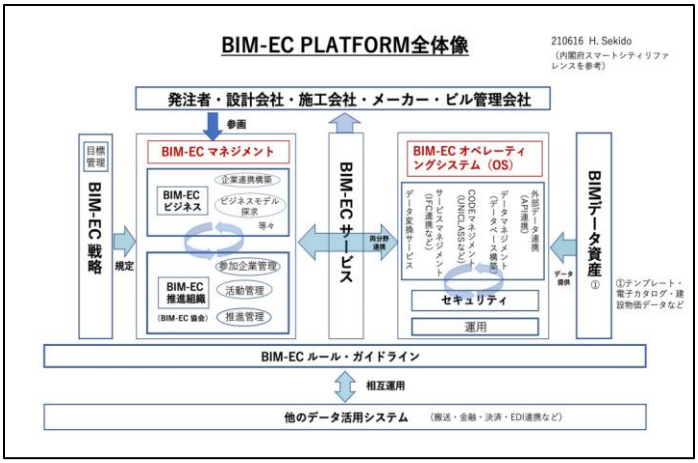
～ｎ対ｎの電子商取引システム開発と会員拡大に向け、新たな組織体制の「準備会」を発足～

【準備会発足の背景】

BIM-ECコンソーシアムは、これまでBIM（Building Information Modeling）へ入力する情報を整理し、そこから出力されたデータを1対１の企業間で連携、見積書を作成できることの実証を2つの現場で済ませた。会員であるアイリスオーヤマ株式会社、伊藤忠建材株式会社、YKKAP株式会社はこの実証実験にて社内システムをBIM対応へと機能拡張開発を行ってきた。

この1対1の実証実験の結果を踏まえ、複数社対複数社（ｎ対ｎ）へのデータ連携を可能にするべく、今後BIM-ECコンソーシアムは準備会を発足し電子商取引システムの開発・会員拡大・運用ルールを策定し、広く建設業界全体で利用できる「BIM-EC PLATFORM」へと発展させることを総会（R3.10.1）で決議した。

※BIM-ECコンソーシアムについては以下リンク先資料をご確認ください。
→2018年9月11日（発足時）
→2021年1月22日（活動報告書）

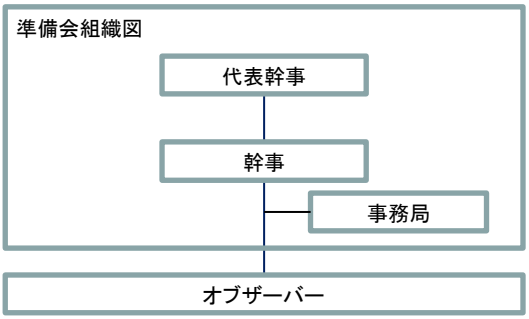


【BIM-EC PLATFORMへ向けて】

本プラットフォームは、大きくは以下の４点を推進していく。 ①発注者・設計会社・施工会社・メーカー・ビル管理会社などが参画し、右図のBIM-ECマネジメントを遂行する。今回設立を目指す新組織は「BIM-EC推進組織」へと繋がっていく。 ②BIM-ECオペレーティングシステム（以下OS）はBIMデータ変換機能やAPIを保持し、分類コードを利用した共通言語環境でデータの管理を目指す。このOSをベースに様々なアプリケーションソフトが生まれることを支援する。 ③BIM-ECマネジメントとOSを両輪としてBIM-ECサービスを展開する。このサービスは、ECルール･ガイドラインに則ったデータで運用される。 ④今後、建物資産として扱われるBIMデータを搬送、金融、決済などの他業界のシステムへ連携できることを期待し、データ作成のルール化を目指していく。

【準備会の概要】

準備会組織は下記で構成し、オブザーバーにも意見を伺いながら新たな組織体制の準備をする。新組織では情報インフラや教育環境の整備も視野に入れた魅力的なBIM-EC PLATFORM構築に向け、ECシステム開発や会員拡大に力を入れていく。



・準備会設立日：2021年10月1日
・代 表 幹 事：スターツコーポレーション株式会社
・幹　　事：伊藤忠商事株式会社
　　株式会社日建設計

・オブザーバー：正会員、IT企業、ベンダー企業等
　　必要な企業･団体･有識者

本件についてのお問い合わせ　コンソーシアム事務局：スターツＣＡＭ株式会社　ＢＩＭテック開発室
TEL：03-3510-2131　担当：三上・堀口